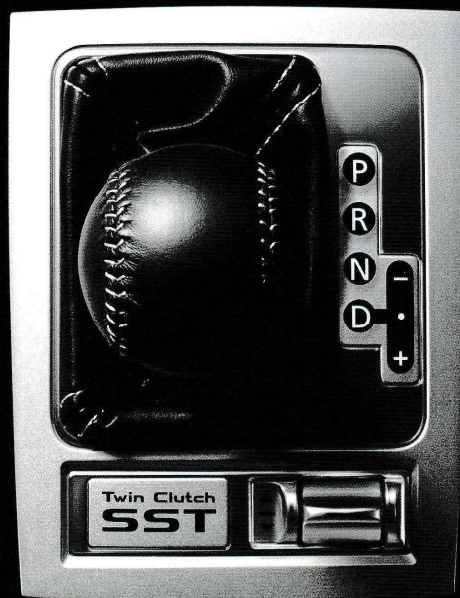
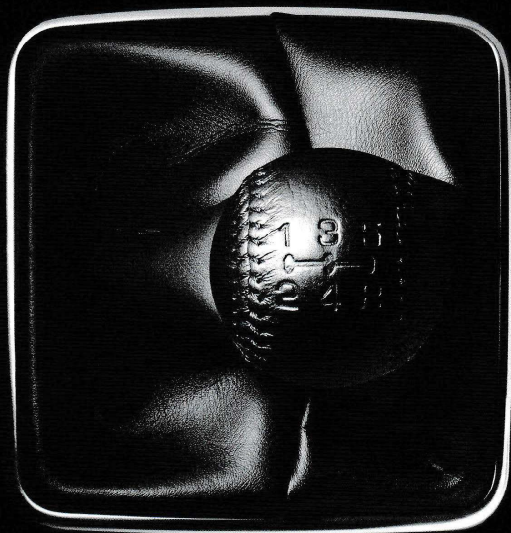




5M/TとTC-SST、2つのシフトワークがドライビングの愉しみを高めた。

目前にせまるタイトなコーナー、リニアなブレーキングでスムーズに減速しつつ敏捷にターンイン。アクセルをあおって回転数を合わせながらスムーズにシフトダウンし、瞬時にクラッチをつないで力強くコーナーを脱出。そしてクロスレシオのギヤを駆使してエンジンの高トルクバンドをキープしたままシフトアップを繰り返し一気にスピードに乗せていく。状況に合わせたフレキシブルなギヤ選択、そして瞬時のアクセルレスポンスなど、マニュアルトランスミッションは、まさにスポーツドライビングの醍醐味そのものでもある。ランサーエボリューションXは、エンジンの出力アップに合わせてトルク容量を増大させるとともに、モータースポーツユースも見すえて新設計した5速マニュアルトランスミッションを搭載。ラリー（グループN）などでのホモロゲーション用として実戦を見すえて磨き抜かれた、まさに本物の輝きを持つトランスミッションである。そのうえで、ヒール・アンド・トーなどの高度なスキルを必要とせず、操作のシンプルな2ペダルで、マニュアルトランスミッションと同等の俊敏で正確なシフトワークを自動化させた新感覚のトランスミッション、ツインクラッチ SST（TC-SST）を搭載。制御モードの切り替えで、家族との日常的なドライブから、山道でのスポーティな走り、そしてサーキット走行へと、まさにパフォーマンスを“変貌”させることが可能。自動変速のオートシフトとマニュアルシフトを併用でき、マニュアルシフトではバドルシフト、または左下の写真のシフトレバーで任意に変速できる。その、M/Tと同じグリップ形状には、たとえ2ペダルであっても本質は“マニュアルトランスミッション”であるというメッセージが強く込められている。